

2014年4月23日

卒業研究の進め方

村澤 康友

目次

1	卒論の目的	2
2	卒業研究の流れ	4
3	具体的な進め方	5
4	まとめ	12

1 卒論の目的

“Reading maketh a full man, conference a ready man, and writing an exact man.”（読書は豊かな人間を，議論は機転が利く人間を，執筆は正確な人間を作る。）

なぜ卒論を書かせるのか？

1. 論理的思考能力の育成

- 自分でテーマを選び，分析し，何かを発見する。

2. コミュニケーション技術の習得

- 発見したことを他人に伝え，納得させる。

これらを教員と学生の双方が真剣に向き合って学習する唯一の機会。

卒論の例

平成17年度提出論文（村澤ゼミ）

1. なぜ流行は都会で生まれるのか
2. UNIQLO：シグナルを発しないファッション
3. なぜ日本の音楽CDは高いのか
4. 結婚離れの経済学
5. お得な自殺

2 卒業研究の流れ

1. テーマの選定（3月まで）
2. 情報収集（4～6月）
3. 仮メッセージ（作業仮説）の設定（ここで第1回中間報告）
4. 調査・分析（7～9月）
5. メッセージの決定（ここで第2回中間報告）
6. 論文執筆（10～12月）
7. 推敲（1月）
8. 提出（毎年1月24日）

3 具体的な進め方

テーマの選定

- 自分が本当に興味を持てる，身近で具体的なテーマが書きやすい。
- たいていの問題は経済学で考えることができる。例えば結婚・犯罪・教育・差別・医療・法律など（他にも経済学で考えられる面白い問題を見つけてください）。
- 環境・年金などありきたりで実感の乏しいテーマは，新しい発見が難しいので苦勞する。

情報収集

テーマが決まったら情報収集

- 情報検索
- 文献検索（図書館を活用する）
- 人に聞く
- 関連授業に出る

授業

テーマ別の関連授業

- 年金：社会保障政策（非常勤）
- 都市問題：地域経済学（綿貫）
- 労働：労働経済（野田）
- 企業戦略・産業政策：産業組織（非常勤），流通システム（中山）
- データ分析：計量経済学（村澤）

もちろんミクロ経済学・マクロ経済学・経済統計は必須。

メッセージ

- 卒論には「メッセージ」が不可欠.
- 当たり前前の主張ではダメで, そのアイデアを盗まれたら怒り狂うほどのものでなければならない.
- メッセージと思われない例
 - リサイクルの意識を高めることが重要だ.
 - リサイクル技術が開発されれば環境問題は改善する.
 - 女性が働きやすくなるよう配慮すべきだ.
 - フリーターの将来が心配だ.

調査・分析

- 先行研究やデータを集め，メッセージの根拠を用意する。
- 専門的な論文をしっかりと読み，参考にする。
- 専門家や現場の人に直接話を聞くと手っ取り早い。

論文執筆

- まず骨子を完成させる。
 - － タイトル
 - － メッセージ
 - － アウトライン
 - － 数枚の図表
 - － 関連文献のリスト
- メッセージを他人に納得させるように論文を書く。
- メッセージについて家族・友人に意見を求めるとよい。書き方のヒントになる。

推敲

- とりあえず10～15ページほどで全体をまとめれば，推敲により最終的に20ページ程度になる。
- 具体的な推敲作業
 - － 不要な部分の削除
 - － 不足している論点・説明の追加
 - － 図表の入れ替え
 - － 文献の引用
 - － 読みやすい文章に書き直す（特に段落の構成と読点の打ち方）
 - － 指定通りの体裁にまとめる

4 まとめ

- 卒業研究により論理的思考能力とコミュニケーション技術が身につく。
- 卒論は必修なので、甘く見ると痛い目に会う（書けずに留年する学生も少なくない）。
- 計画的に進めれば、卒論はそれほど大変ではない。
- 日常生活から卒業研究のヒントを見つけてほしい。
- 卒業研究を念頭において今後の授業に取り組んでほしい。